

一般質問発言通告書

発言順位 9番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和4年11月22日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 4番 堀江 和雄

質問事項1	子ども子育て政策のアイデアと女性の政策司令塔
具体的内容	子どもは未来の宝・地域の宝として、地域で見守り育ててきている子どもたち。お父さんお母さんを笑顔にするのはやっぱり子どもたち。5年10年20年先のこれからのまちづくりは、子どもたちが主役です。子どもたちが笑顔で生活できる様々な環境を整えるのは、私たちの最優先の仕事であると考えます。
	1 子ども子育て政策をど真ん中に置く予算・権限をもつ女性の政策司令塔が必要と考えるが。
	2 これからの子ども子育てをど真ん中の政策アイデアを民間に伺うのはいかがか。(SIB)
質問事項2	これからの三島の戦略性
具体的内容	子ども子育て政策を推進していく中でも、残念ながら数十年は人口が減少していく。人と人、民間と民間が融合する事により、アイデアなどを募り民間の知恵を借りることが地方都市の生き残り戦略であると考えます。
	1 ガーデンシティの取り組みを発展させて「環境都市」グリーンシティを目指すことについて
	2 スマートウェルネスを発展させて「医療・健康都市」日本版ロチェスターを目指すことについて
	3 三島駅前に高度な医療の拠点を創り、名実ともに医療・健康都市を確立し、市民一人一人をデータに基づいて健康管理をサポート実現する、その先の医療・介護・看取りをまるごと実現していく戦略に発展させることについて(地域包括ケア・三島版 CCRC など)
質問事項3	地域再生の主体は民間活用
具体的内容	自治体の担うべき役割を明らかにし、民間でできることは民間に移行する。自治体DX、スマート市役所などにより、自治体業務の仕分けによるスリム化と民間活用について伺う。
	1 市役所業務の棚卸しを行い、民間活用が可能な業務と公共が担うべき業務の仕分けを行う必要性について
	2 優れた民間人材(DX人材など)の登用と職員の育成(企業派遣)について
	3 民間の持つノウハウや資金力を我が街に呼び込むことについて
	(1) これからの三島の「魅力あるビジョン」の提供(IR)とプロフェッショナル人材育成及び外部人材の登用について(金融・マーケティング・税に関する情報を提供)
	(2) 大場地域のエリアデザインをはじめとする三島市南部を中心とした「グランドデザイン・企業立地推進ビジョン」の策定について
	(交通アクセスの改善(西間門新谷線の整備促進と周辺企業誘致、伊豆箱根中間駅の設置等)、職住の近接)